

「高知市男女共同参画推進プラン 2026」(案)パブリック・コメントの結果について

- 1 募集期間 令和7年12月26日(金)から令和8年1月26日(月)まで
 2 人数等 (1)提出人数 個人2 団体1
 (2)提出件数 9件
 3 意見の内容及び市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
1	<p>私は、男女共同参画について学んでいます。日常生活の中で、まだ男女の役割が決めつけられていると感じることがあるからです。今回のプランを読んで、前回のプランと比べて、女性への支援やDVなどの問題にしっかり取り組もうとしている点は良いと思いました。今の社会に合った内容だと感じました。一方で、若い人がこの問題を身近に感じられるような取り組みについては、もう少し書いてもよいと思いました。若い世代にも分かりやすく伝えることが大切だと思うからです。そのため、学校や SNS などを使って、男女共同参画について考える機会を増やす内容を入れるとよいと思います。全体として、このプランは大切なことが書かれていると思いました。</p>	<p>本プランに基づく具体的な取組については、別途取りまとめ、年度毎に公表することとしています。</p> <p>本市としても、若い世代の方が男女共同参画を身近に感じられる取組は重要と考えており、学校との連携やデジタルツール等を活用し、情報提供を実施してまいりますので、「第4章 計画の推進」(27 ページ)の「7 男女共同参画に関する調査及び情報提供の実施」の2行目について、「広報紙など、さまざまなメディアを利用した情報提供に努めます。」を「情報提供においては、学校との連携を進めるとともに、デジタルツールや広報紙など、さまざまなメディアの活用に努めます。」に修正いたしました。</p>
2	<p>非正規雇用等の不安定な雇用につく女性の問題を掲載することを望みます。女性が非正規雇用など不安定な雇用につく傾向があることは、全国のみならず高知市でも同様です。この点は男女の賃金格差が生じる大きな要因でもあり、職業生活におけるジェンダーの大きな問題の一つです。</p> <p>しかし今回のプラン案の「基本目標 2」では、〈取組の方向性〉のみならず、〈現状と課題〉においても、非正規雇用に関する記載はありません(*)。</p> <p>*2021年のプランでは〈現状と課題〉で、「女性が働く環境に関しては、非正規雇用等による不安定な雇用環境の改善…(中略)…にもなお一層の取り組みが必要です」という記載があります(p.21)。</p>	<p>本市においても、男性に比べ女性の非正規雇用率が高い状況となっておりますので、「基本目標2 誰もが能力を発揮し、いきいきと活躍できる社会をつくりましょう」の「女性活躍の推進」(21 ページ)についての記載中、2段落目について、下線部を追記し、「女性活躍推進法」や「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(育児・介護休業法)」等の改正等、働く場に関する法や制度の整備は進んでいるものの、<u>男性に比べ女性の非正規雇用の割合が高いことによる男女の賃金格差や、ハラスメント等は、依然として存在しています。</u>」に修正いたしました。</p>
3	<p>市が企業に指導をしたり働きかけたりすることは難しいと想像します。しかし、そうであれば、市が率先して男性職員の育休取得率向上を進めていくのと同様に、市職員における会計年度任用職員の状況を指標とすることはできないでしょうか。具体的には、会計年度任用職員の人数(男女別)の実績と、その人数を縮小させていくことを目標にすることを指標の一つとすることを望みます。</p> <p>公務非正規の問題はジェンダーとも密接にかかわっており、女性が不安定な待遇と低賃金に留め置かれる要因の一つとなっています。公務非正規の問題を解消していくことは、高知市のジェンダー平等の実現にとっても有益なものとなると考えます。</p>	<p>会計年度任用職員については、1会計年度ごとに任用する職員として、あくまで各部署の事業や施策により生じる業務量や業務種別に応じて、適正に雇用するものですので、本市においては、削減数や男女比を目標とすることにはなじまないものと考えております。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
4	<p>子育て支援体制のさらなる充実を望みます。</p> <p>中学生以上の子どもに対する支援がほとんどないという声があります。子育てにかかる負担は、子どもが中学校に入れば終わりではもちろんありません。市民意識調査で、女性の就労継続・再就職のために必要だと思うこととして、「子育て環境の整備・充実」が最も高くなっているのも、おそらく中学生以上の子どもも念頭においてのことだと思います。</p> <p>飲食店など夜に働いている家庭への取り組みが薄いとの声もあります。</p> <p>これらの状況から、基本目標 2 の〈取組の方向性〉(ウ)「育児・介護における多様なニーズに対応した支援」の中に、「子育て」をより長期的にとらえた子育て支援、さまざまな働き方をしている方がより使いやすい支援を具体的に盛り込むことを望みます。</p>	<p>中学生以上の子どもや、夜に働いている家庭への対応という、多様なライフスタイルに対応した子育て支援や、「子育て」をより長期的に捉えた支援の必要性についてご意見をいただきました。</p> <p>子どもの年齢に応じた支援が必要であるというご意見は、今後、本市が策定する子育てに関する計画や施策の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、本プランに基づく具体的な取組については、別途取りまとめ、年度毎に公表することとしております。</p>
5	<p>(プレコンセプションケアにからめとられない)包括的性教育の推進を望みます。</p> <p>国の政策や県のプラン案では、少子高齢化による人口減少を防ぐための「女性に選ばれる地域づくり」が進められ、その一環として、妊娠・出産を前提とする「プレコンセプションケア」が推進されつつあります。プレコンセプションケアでは、産むか産まないかを自己決定するリプロダクティブ・ライツや、多様な性、多様な家族のあり方が無視されてしまうことになり、その点を私たちはとても危惧しています。</p> <p>高知市の取り組みが、プレコンセプションケアにからめとられず、引き続き、人権を尊重する包括的性教育を推進していくことを強く望みます。</p>	<p>妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)といった具体的な行動を取ることができるための取組の前提として、子どもを産むか産まないか、いつ産むか、何人産むかを自由に決める権利を含めた「リプロダクティブヘルス/ライツ」は重要な視点であると考えています。</p> <p>このため、「基本目標2 誰もが能力を發揮し、いきいきと活躍できる社会をつくりましょう」の「生涯にわたる男女の健康支援」(22 ページ)についての記載中、最終段落について、下線部を追記し、「さらに、<u>自分の身体、性や生殖に関することを自ら決定するリプロダクティブヘルス/ライツ(「性と生殖に関する健康と権利」)</u>を踏まえ、性別を問わず、若年期から性や健康に関しての正しい知識・情報を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)を行う取組も求められています。」に修正いたしました。</p> <p>また、「リプロダクティブヘルス/ライツ」や、多様な性、多様な家族のあり方を尊重する上でも、教育を通じて正しい知識と情報を身につけることが重要だと考えています。</p> <p>包括的な性教育を行うことで、性や生殖に関する正確な理解と自己決定の力を養い、妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)といった具体的な行動を自ら選択・実行できるようになると考えておりますので、引き続き包括的な性教育を進めてまいります。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
6	<p>高知市男女共同参画推進プラン 2026(案)を拝読しました。読んでも、耳ざわりよく素敵なことが書かれているようであまりピンときませんでした。</p> <p>ですが、前回の高知市男女共同参画推進プラン 2021 をベースに事業を継続して行っていくことはわかったので、計画を元に実際にどのような事業がなされてきたのか、前回の報告書をみてみました。</p> <p>結果、自分の実生活とはあまりにもかけ離れていて、おまけにかすりもしていないことに驚愕しました。</p> <p>子どもを産み、母親になってから、性別役割分業や世の中の家父長主義的な空気が苦しく、生きづらいつと感じることが多くなりました。</p> <p>ですので、私にとってはこの男女共同参画推進計画は自分の生活に関わるとても重要な計画だと感じていました。</p> <p>もちろん、実施されている事業が全く無意味だとは思っていません。</p> <p>実施された事業によって、助かった人もいるんだと思いますし、男女共同参画の空気を醸成することも必要なことだとは思いますが、市役所の方が市役所の人のためにやっているのかな、という感想を持たずにはいられませんでした。</p> <p>自分の実生活において一番関係があるのかと思った箇所、「子育て支援の充実を図ります」のファミリーサポートセンターの事業ですが、私は夜働く場合があるためこの制度を利用しようとする、一日で 7000 円も支払わなければならない、全く現実的な制度ではありません。使えないです。</p> <p>例えば我が家の子供は中学生が 2 人、小学生が 2 人なので、自分のことは大体自分でできます。</p> <p>しかし、夜子供たちだけで過ごさせるのは不安なので、大学生のお姉さんが 1 人、親がいない間夕方から 21:00 くらいまで子供と一緒に過ごしてくれる、そしてそのバイト代は市が補助してくれる、そんな制度が私には必要です。</p> <p>計画には「多様」がよくうたわれていますが、現状、ホワイトカラーの小さい子どもがいる家庭しか視野に入れていないように感じます。</p> <p>うわずみだけすくって、子育て支援と言っているような気がしてなりません。</p>	<p>ファミリーサポートセンター事業へのご意見と、子どもの夜間見守りに関しての具体的な提言をいただきました。</p> <p>現行の制度では、お子さんを同時に預かる場合の減額制度がありますが、ご家庭の状況に応じた免除制度はなく、また、「依頼会員」宅でのお預かりができない、中学生に対応していないといった仕組みとなっています。</p> <p>今回いただきました多様な働き方を支える幅広い支援が必要であるという切実なご意見は、今後、本市の子育て関連事業や国県への要望事項の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、本プランに基づく具体的な取組については、別途取りまとめ、年度毎に公表することとしております。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
7	<p>「プレコン」に力を入れているところが本当に不快です。 プレコンより SRHR にもっと尽力してほしい。 今子育てで疲弊している家庭がたくさんいる現実に目を向けずに、子供を産めと囁し立てるのは間違っていると思います。 子供が小さくなくなったら子育てが終わりではありません。中学生、高校生になっても子育ては続きます。</p>	<p>プレコンセプションケアの概念は、「性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)や将来の健康を考えて健康管理を行う」ものであり、性別や年齢を問わず、個人が望むライフデザインを実現するために必要な教育や啓発等の取組として、関係機関と連携しながら行うこととしており、その目的が SRHR (セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツ) と相反するものではないことをご理解いただきたいと考えます。</p> <p>また、次年度に策定予定の「(仮称)高知市こども計画」において、「こどもまんなか社会」の実現に向け、こどもから若者まで、広くご意見を頂戴し、ライフステージに沿ったこども・子育て支援策の充実にも積極的に取り組んでまいります。</p> <p>なお、妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)といった具体的な行動を取ることができるための取組の前提として、子どもを産むか産まないか、いつ産むか、何人産むかを自由に決める権利を含めた「リプロダクティブヘルス/ライツ」は重要な視点であると考えています。</p> <p>このため、「基本目標2 誰もが能力を發揮し、いきいきと活躍できる社会をつくりましょう」の「生涯にわたる男女の健康支援」(22 ページ)についての記載中、最終段落について、下線部を追記し、「さらに、<u>自分の身体、性や生殖に関することを自ら決定するリプロダクティブヘルス/ライツ</u>(「性と生殖に関する健康と権利」)を踏まえ、性別を問わず、若年期から性や健康に関しての正しい知識・情報を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)を行う取組も求められています。」に修正いたしました。</p>
8	<p>企業を表彰するのもよくわかりません。</p>	<p>ご指摘の企業表彰は、「高知市男女共同参画推進企業表彰」であり、男女共同参画に関して先進的な取組を実施している企業を表彰し、その取組や成功事例等を広く発信することで、他企業における男女共同参画の取組を促進し、性別にかかわらず全ての人が能力を發揮できる職場環境を地域全体に普及させる目的で実施しているものです。</p>
9	<p>介護を取り巻く環境整備を支援します、というのも、わざわざ子育ての文脈に入っているのでダブルケアの対策があったのかと思って読んでみたけど、なんなのかわくわからなかったです。もちろん、介護の施策の方で色々あるのはわかりますが。次の計画では、本当に、綺麗事いっていないでちゃんとして欲しいという気持ちです。</p>	<p>「介護をとりまく環境整備を支援します。」について、分かりづらいというご意見をいただきました。</p> <p>介護予防や生活支援などの環境整備を充実させていくことなどを想定していますので、当該箇所(23 ページ)の記載については、「介護をとりまく環境の整備を図ります。」に修正いたしました。</p>